

特56
247

凶
禮
略
典

神
田
息
胤
著

013955-000-8

特56-247

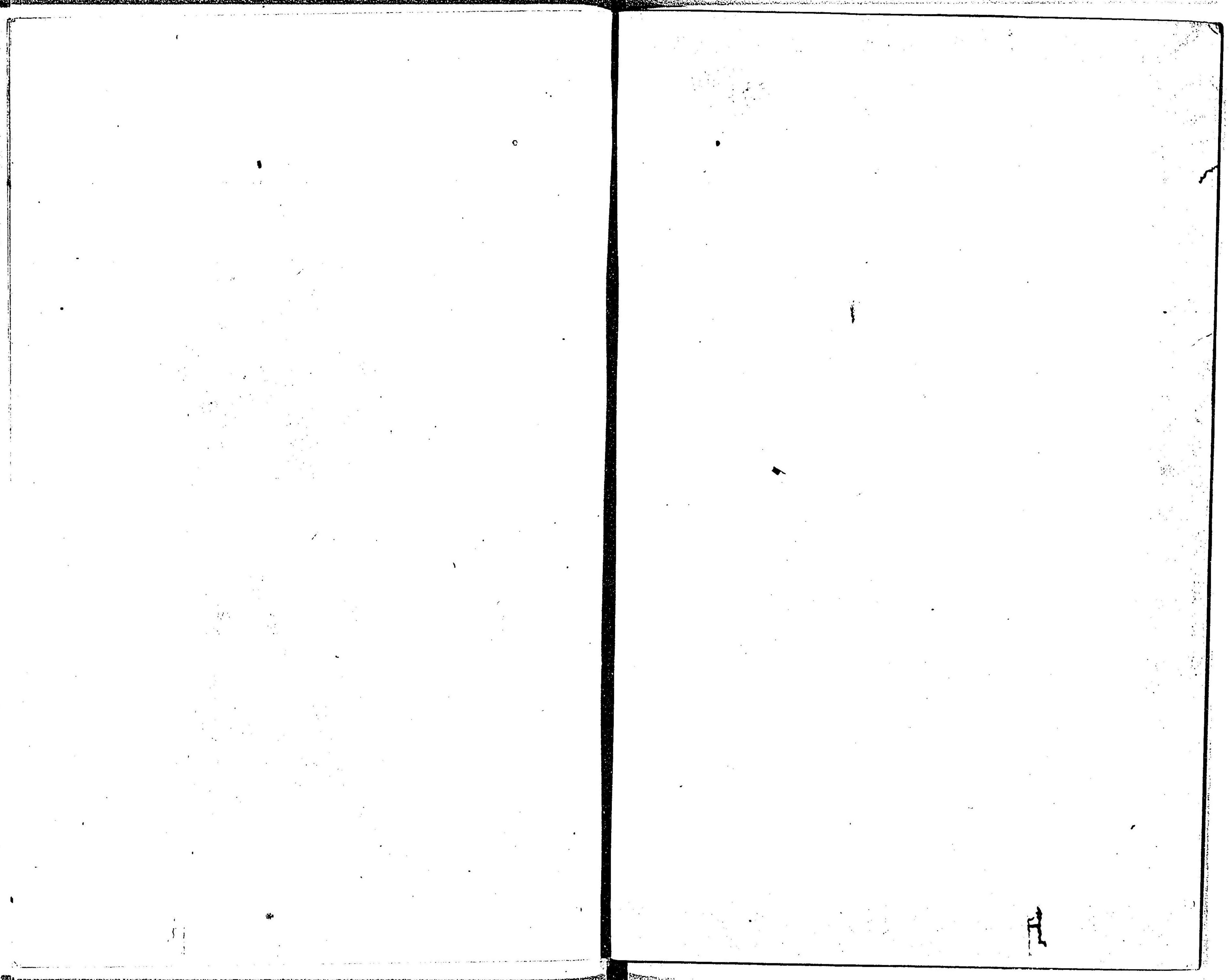
凶禮略典

神田 息胤/著

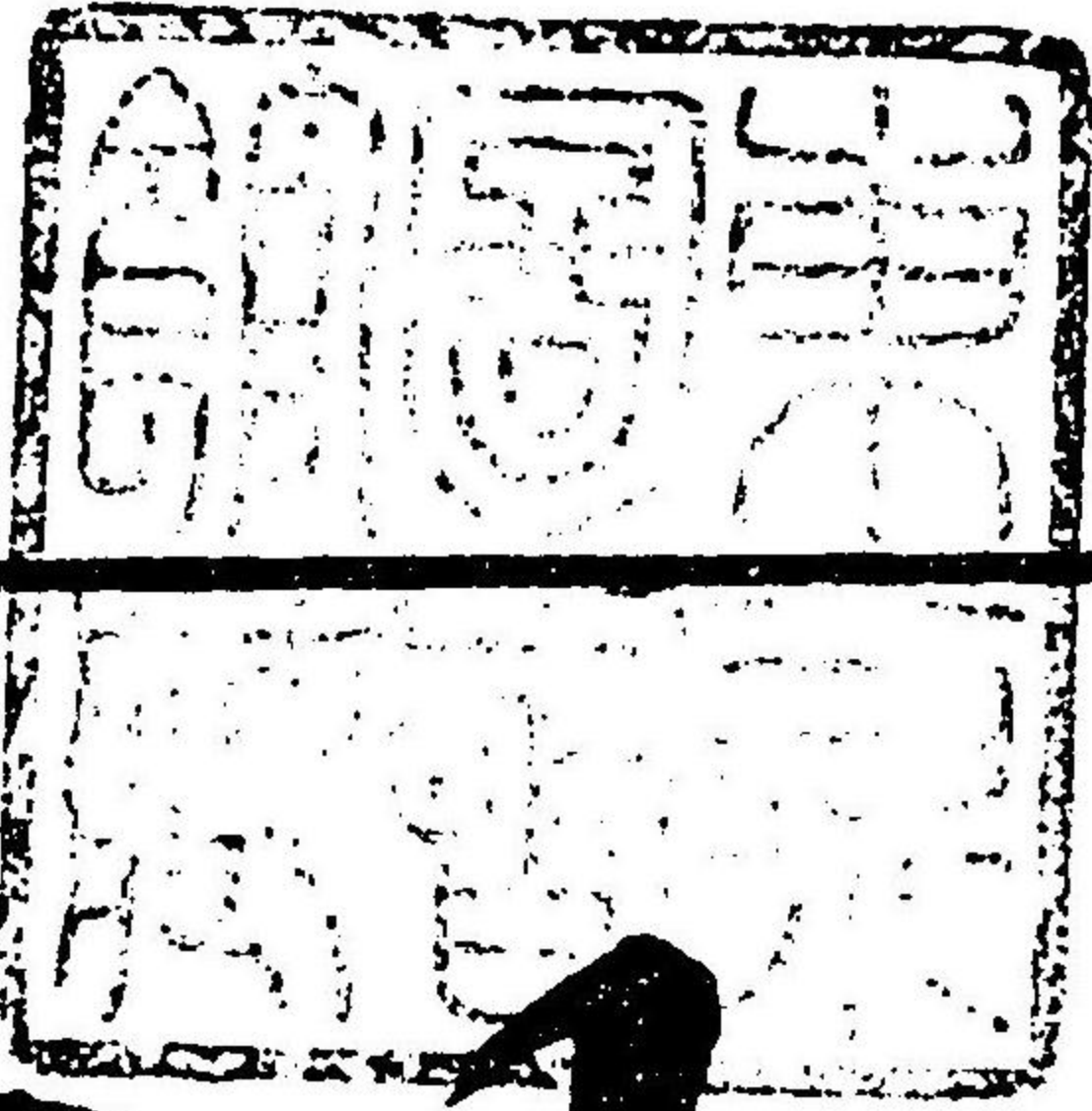
M20

ABB-0196





特56
247

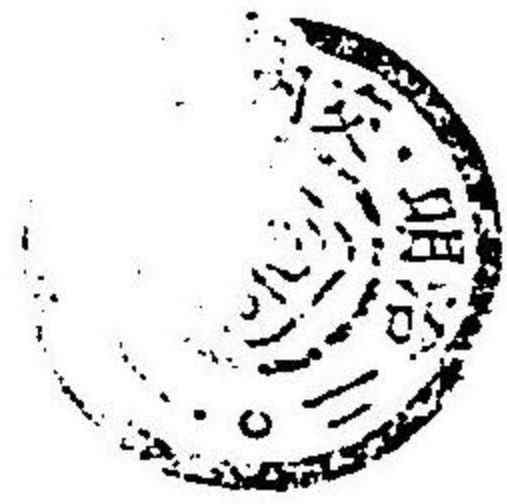


105935



端

誠



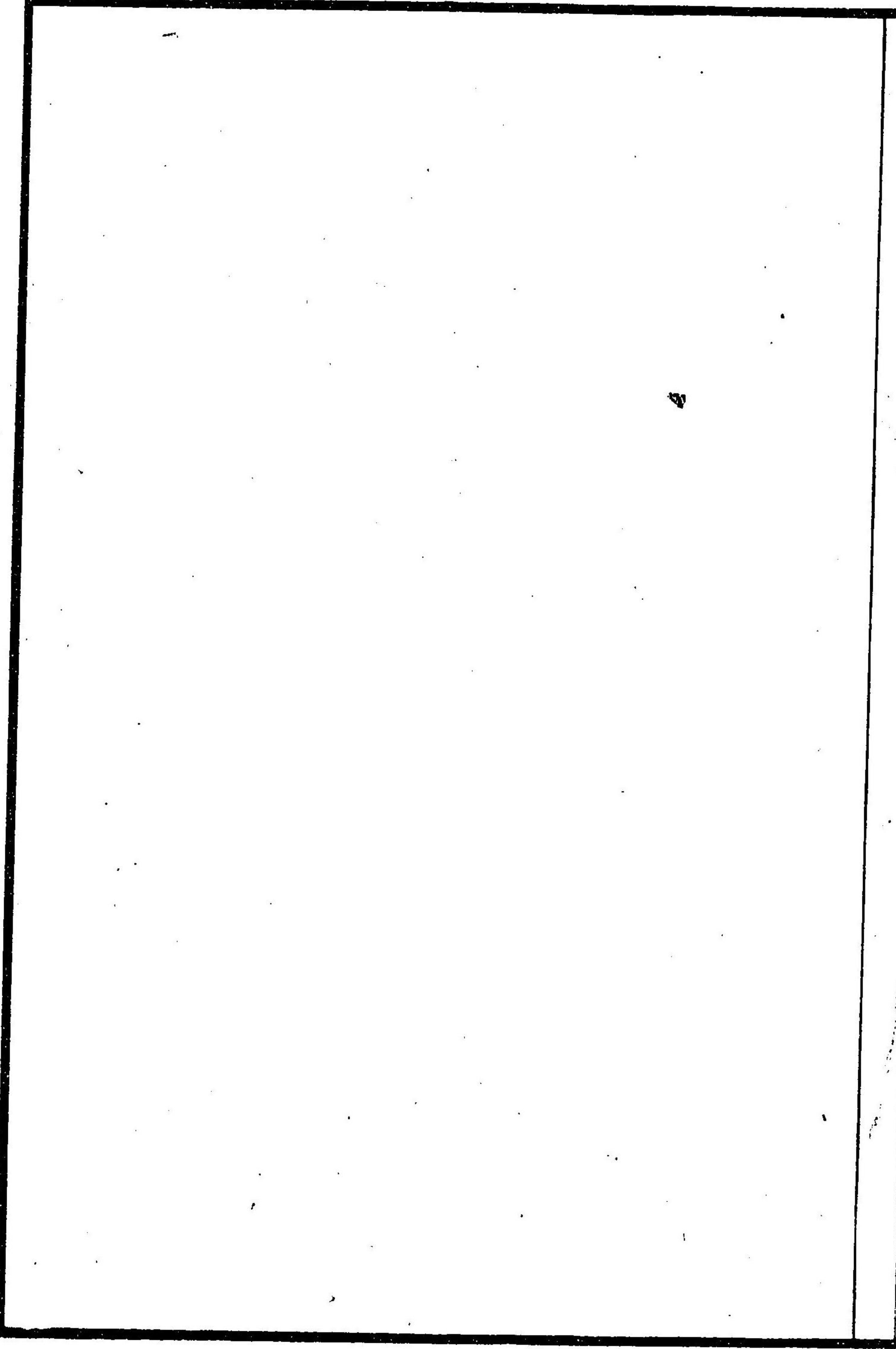
○凶禮略典

○題辭一

盡
敬

明治二十年三月
從四位溝口直正題





新
至利女公少如之
人付道正江理成送
付事由禮之世也
志少於之者居
行止氣心し何事付

深き目と理と好の
多き女の毎日の母を
あつまつていかにと
母の女をいかにわ
かすかき常は
くはなす又物言

不さる定むをよし
うたげ大教正か女
如おとて毎日の著
多きかき何と
見よる女はあや
毛も潤ねと

毎々好ましくして
種々世に好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま

力主として好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま
主として好ま



凡例

- 一 此書を六國史及び其他の群書中苟も喪儀や關係もの或参考にせし雖ども引用書目を煩はるるまじきを記す
- 一 儀式の古典の徴何れもの或り且ち數年間執行せし實際をふくむ其略式を記す
- 一 祭文は貴賤老少男女に別なく普祿に用ゐらるるを本旨とし

- 一 祭文を盡く古典の例格をてりて選述し安め
ふ新案に語れ用ゐる文
- 一 祭文の長短あはれ實際の経験よりおきて適度
を選免るが故なり
- 一 諡號を専ら諡號考に例おとめ己が考案をも
加りて定めお

選者識

凶禮略典

平息胤著

○ 教師喪家に依頼し應し葬儀を執行せむる其
式の輕重を喪家乃貴賤貧富おとめりて等差を
とせ雖ども死者に靈魂を導きて幽府に歸せ
しむるを専ら教師の與るやころおしりて輕重
に差別あるるらて故に教師あるもの常り
て此道理を心おとめて懇切を盡し喪家を

志す毫め遺憾ありしむせし

○遺骸を斂むるを家人に任じし

○遺骸に枕頭を敷き八足案を据え洗米鹽

水等を奠す豫守刀一口を置き夜に燈火を
點せしむせし

○葬斂に諸具を造らしむせし

○齋主まお盥嗽ミタマシロて靈主を諡號を書き別室を薦
を敷き高案を据え其上に靈主を安置し被主

被主修し齋主招魂の詞を唱ふ此間教師次

饌物を奠す齋主告文を白し再拜短手一段玉

串を採り一揖し案上を備す一拜次教師等一

同拜志す席を復し次に親戚を率ゐて拜せし

むせし

○諡號を左に例格より相當の語を撰み贈

るに例へば細花照相彦おぞむ如し

	女	男	皇族	
	某命	某命	大臣	公爵
	某君	某公	勅任	侯伯爵
	某貴	某大人	奏任	子男爵
	某姫	某彦	華族	判任士族
學者有功有德者	少 少女	少 若子	老 老翁	老 老叟
	壯 某大郎女	壯 某郎子	壯 某郎子	壯 某郎子
	老 大乃自	少 童男	老 刀自	老 童女
	壯 某郎女	壯 某郎女	壯 某郎女	壯 某郎女

○名旗左の書式ふりて記さむるし
 故官位姓名之柩或を何府縣華士族姓名之柩

○墓標左に書式ふりて記しむるし
 表面謚號裏面故官位姓名年月日年齢
 ○墓誌左に書式ふりて記さしむるし
 故官位姓名之墓誌年月日歿或を略傳功績等
 を記す

○送葬先を扱て凡一時間むかひ出棺式
 行ふるし 饌物等豫
 多具備はまは祓主祓を修し教師饌
 物を奠へ齋主出棺に祭文告り玉串を供す

再拜短手一段 教師等一同拜し訖る親戚等を
 ちり玉串茂採り拜せし先教師等饌物を撤し
 而して行列の準備茂爲さむるし
 ○行列を式の輕重おとて異ありや雖ども今
 其概略を左に示次時お臨みり取捨あむる夜
 を提灯或ち秉炬茂持ちむるし

前驅	箒杖	紅白旗	大神	紅白旗	教師
	箒杖	紅白旗	大神	紅白旗	教師

饌物櫃	教師	齋主	樂負同	銘旗	紅
教師	教師	樂負同	樂負同		紅

青旗	教師	生花	教師	柩	凳子	喪主
青旗	教師	生花	教師	柩	凳子	喪主

近親	墓標	教師	青旗	親族	會葬人
近親	墓標	教師	青旗	親族	會葬人

雜具人夫

○墓地葬壙は前より豫じ免竹を樹て注連縄を曳
互し中央に薦を敷た式場を設くべし

○行列墓地に到らば弔葬人等も左右に列せし
免中央に免コレ子ガイを置お柩を舁据え紅白青旗名
旗墓標等を柩の後より列し箒杖神等を柩の
前に樹て其前より薦を敷た高案を設く饌物を
奠ソナり訖て齋主柩前を距ること凡そ一步前進
み告文を告げ再拜短手一段次にお玉串を採り

一揖し案上にお備り一拜し復席は次り教師
等各玉串を奠ソナふ處を棺の時お同じ次は
親戚會葬人等順次にお玉串を供ソナり一拜訖て饌
物を撤去て後柩を壙中より填むるお及び教師
退散し親戚等墓標を立多垣を廻らし注連縄
を曳互し免コレ子ガイを置お柩を舁据え紅白青旗名

○出棺の後教師一名喪家にお在り家内を祓ひ清
免門外にお浄水を湛へ教師及び會葬人等歸り

來らざるが盥嗽せしめ被麻被採る被ひ清め
て後家内に入り居るに依りし

○埋葬訖已家へ歸りし後靈祭を行ふるし

○當日靈祭の後左に日數を以て靈祭を執行す
るし

七日 十四日 廿一日 廿八日 三十五日

四十二日 四十九日

四十九日靈祭の後左に式年戎以て靈祭を執

行次法し

周年 三年 五年 十年 二十年 三十年

五十年 百年 二百年

○式年以外毎年春秋二季の時日決定を祖先を
共々靈祭を執行するし

附言

- 一 儀式を予が著は凡そこれに神祭略式を準し
る執行に盡し
- 一 喪家にて齋主以下の者を待たるる時飯を饗
次味酒肴を用ゐるを若し蓋むる
事阿味も教師ある者慎て飲食をから
一 齋主以下の服を浄衣白直垂等を用ゐる齋服
用ゐる時尤巻纓に冠を着るに盡し

- 一 喪主を薄墨に喪服を用ゐるに盡し
- 一 陸海軍士官は送葬には柩に前か帽子肩飾エホレット綬
章劔旗等を持せ乗馬士官は柩の後を馬
牽かむるに盡し

○新尔墓地設くる時を地鎮祭
をぬし左に祭文を白紙に

挂卷母恐伎土公大神乃御前余職苗名

カケマクモカレコキツチギミノオホカミノミマヘニ
カレコミカレコミモマラサクイマ
カレコミカレコミモマラサクイマ
カレコミカレコミモマラサクイマ

大神乃宇斯波伎座須地能荆荒草刈拂

オホカミノウウシハキマストコロノイバラアラクサカリハラヒ
ツチカキナラシレメナハウチメグラシサカヒヲカギリテツクリサダ
ツチカキナラシレメナハウチメグラシサカヒヲカギリテツクリサダ

土搔平之注連縄打廻之畏乎限造定

ムルカタチヲキコレメシテイマヨリノチコノオクツキクエヨナルハ
ムルカタチヲキコレメシテイマヨリノチコノオクツキクエヨナルハ
ムルカタチヲキコレメシテイマヨリノチコノオクツキクエヨナルハ
ムルカタチヲキコレメシテイマヨリノチコノオクツキクエヨナルハ

事無久長久遠喪無久事無久令在給

閉^ヘ忌^イ清^{キヨ}麻^マ波^{ハリ}奉^テ留^マ御^ミ酒^キ御^ミ飯^ケ乎^ヲ平^タ久^ヒ安^ス久^ク
登^ト忌^イ清^{キヨ}里^リ氏^シ奉^テ留^マ御^ミ酒^キ御^ミ飯^ケ乎^ヲ平^タ久^ヒ安^ス久^ク
聞^キ食^シ世^セ鹿^カ自^ジ物^{モノ}膝^ヒ折^リ伏^フ世^セ鵜^ウ自^ジ物^{モノ}頭^ウ根^ネ突^ツ
抜^ヌ氏^シ白^{ハク}給^ク白^{ハク}須^ス
○招魂 此詞

姓^シ名^ナ能^ノ靈^ミ白^マ久^ク佐^サ諡^シ號^ク登^ト御^ミ名^ナ波^ハ告^マ之^レ今^イ
職^シ苗^マ名^ナ我^ガ招^シ魂^マ乃^ノ式^{シキ}以^テ氏^シ招^シ奉^マ留^ル隨^マ此^コ
靈^ミ主^マ余^ニ靈^ミ魂^マ乎^ヲ留^ル坐^マ白^{ハク}須^ス
○招魂 此詞

○招魂 志多靈祭 茲おひ
左の詞を告る 登し

諡^シ號^ク靈^ミ余^ニ職^シ苗^マ名^ナ謹^シ氏^シ白^{ハク}久^ク佐^サ此^コ頃^ク御^ミ身^ミ勞^ラ
須^ス余^ニ依^ヨ氏^シ御^ミ家^カ人^ニ等^ト波^ハ暫^シ乃^ノ間^マ毛^モ休^ユ息^ス母^モ事^{コト}
無^ク久^ク且^カ夕^ス夜^ヨ日^ヒ不^ト云^ハ思^ハ議^カ互^ニ良^キ醫^シ師^シ能^ク良^キ
藥^ク能^ク驗^ス余^ニ御^ミ病^ヤ者^ハ瘡^ハ奈^{ナム}怠^ナ年^{ナム}物^{モノ}叙^シ心^{ココロ}置^キ給^マ
氏^シ有^ル留^ル間^マ余^ニ安^カ加^カ良^ラ米^メ佐^サ須^ス事^{コト}能^ク如^ク久^ク遽^ニ
余^ニ此^コ世^ヨ乎^ヲ離^サ氏^シ幽^カ冥^{クリ}余^ニ罷^マ坐^マ婆^バ親^ウ族^ラ等^ト

波ハ 世ヨ 余ニ イヒシ ラズ ウラブレナゲ キカシ ミ 給比。セ

米メ 豆テ ミ 御葬乃ノ キヤダニ メダタク フサマツラムト シテ。ミタマシロ

余ニ ミタマ オギマツ リテトホナガ クイハヒ マツ 表良年 アヒウヅ

那ナ 比ヒ タマビ。コノ イヘノウチニ ミタマ フラ トシメマシ テタヒラケク

鎮坐 登白 須。 此家内 余 靈魂 乎 留坐 氏 平 久 祁

某能ノ 棺能ノ 御前 余ニ 告白 久佐クミマシモコトアハレツ

○發棺前 柩尔 饌物を 奠

左の 詞 哉 告る 處し

汝命 何 怜 都 禮

母モ ナク。マカリマシ ツルカモ 留モ ソコハカト ナク。カク 礼

坐都 加母。狂事 哉人 乃云 留都 逆言 乎人 能 告

都事 卒爾 之 余 有 婆。親族 等 我 心 波 甚 母 飽

受 思 悃 備。夜者 夜 能 盡 晝者 日 乃 盡 泣 哭

臥 轉 毘 匍匐 比。悔 美 痛 美。空 伎 御 體 乎 美

々 留々。猶 御 坐 流 須 物 登 思 惑 比 歎 加 比。奈

今 暫 留 米 置 久 麻 欲 杼 須 母。世 乃 慣 限 之 有 婆。

○凶禮略典

。十

古能例乃隨余。擲棺乎造里葬具設備。今奈葬禮治奉登。親族等打集比。各毛玉串捧持氏。誅竟奉留任余。出立須。狀者御尾前能供人等我刺立留旗手波。此方此方余立並倍。哭女乃哭都々。奧城。所余送奉。須年登。狀乎相宇豆那比。今職苗。名我告申。須事乎穩余。聞着世。天下能青。

人草諸神隨余生出來留隨余。其道表履。行年人波。天神乃惠美幸閉給。然波。有現世余在里。過犯。罪咎能。有波。幽冥。乃神能棄給比。捨給。故余。今行。祓乃。法以氏種々。乃罪咎乎。佐須良比。失。汝某乃靈魂波。今與後波。直伎正伎真能。道理余違不事無久。幸久座。物叙。故世。

淨	眞	波	乃	氏	奉	乃
所	空	深	任	甚	母	道
乎	行	山	余	母	杼	理
明	久	余	幽	尊	靈	乃
美	月	句	事	伎	魂	隨
多	影	照	掌	御	波	余
能	余	漆	分	面	天	遺
志	心	布	氏	向	翔	體
美	表	木	千	余	互	波
或	澄	花	世	從	冥	下
波	之	乎	万	比	府	津
大	或	見	世	神	余	石
海	波	行	余	能	參	根
能	山	之	限	御	至	余
浪	川	秋	奈	法	利	斂
寄	乃	波	春	式	坐	米

留	護	伎	湛	加	余	無	白
磯	給	多	閑	安	安	後	須
乎	比	麻	種	余	聞	母	須
見	惠	祁	々	取	坐	輕	須
愛	美	余	能	氏	氏	久	須
都	給	飯	物	罷	坐	心	須
家	登	乎	作	年	年	母	須
能	棺	母	備	道	道	意	須
子	乃	理	閉	能	能	太	須
等	前	多	齋	間	間	比	須
表	余	麻	比	波	波	余	須
永	荒	毛	白	恙	恙	出	須
久	薦	比	須	事	事	立	須
遠	乎	余	狀	平	平	座	須
久	取	水	乎	平	平	登	須
守	敷	表	平	平	平	世	須

○墓所式場
奠て後左此詞を告るる
柩を据え饌物哉

某國某郡某地乃奧城所能四方四隅

齋竹樹氏注連繩打廻之良其中央余柩乎

昇居職苗名葬儀取總持氏白妙乃衣能

袖母曾保遲濡流加哀美徳備都白佐久汝

命加久現世乎離里八十隈路登遙幽

冥余罷坐留事與安那悲母伎可安那憂加

母親族等波叫備咽備心悲久保々登々

絶入久奴倍勞久之有杼現世乃慣登黙毛敢

在婆相佐和通喪具設整閉行隨乃列波

白杖乎御前余持秉炬乎燭氏大路表照

之白旗赤旗乎雲井遙余刺立氏棺乃後

先間毛無久滿續邪恙事無久滯事無久

送奉留任余今之御骸能石隱坐互御儀

容乃彌見受奈利奈年若真言問須物奈
タノイヨ、モエズナリナムヲモシマコトハスモノナリ
 婆。語比良放言放毛爲麻之如此言詮母无
セバカタラヒサケイヒサケモセマレヲカクイフカヒモナ
 久成。果給比。奴。言年便爲年便不知余思
クナリハテタマヒヌレバイハムスベセムスベシラニオモト
 和備。心。空。鬱。悞。手足多由多比進
ワビテココモソラニオホ、シクテアレタユタヒシ
 退。奴。礼。限。事。式。乃。隨。余。御。酒。御。饌
マヒヌレドカギリナキコトナレバノマラニモキモケ
 余。御。水。乎。母。利。備。閉。幾。許。能。物。取。設。色。各
ニモモヒヲモリソナヘコキダクノモノトリマケテオノ
 毛。各。毛。八。十。玉。串。乎。捧。持。重。々。余。永。別。乎
モオノモヤソタマガレヲサゲモチシクニナガキワカレヲ

告白。年。狀。表。聞。受。坐。氏。汝。某。乃。形。見。乃。處
ツゲマヲサムサマヲキ、ウケマシテ。ミマシノカタミノトコロ
 登。親。族。參。拜。伎。年。倍。此。奥。城。乃。下。津。石。根。余。
トウカラヤカラマキヲロガムベキコノオクツキノシタツイハネニ
 安。久。穩。余。鎮。坐。登。白。須。
ヤスクオダヒニシツマリマセトマラス。

○埋葬訖り喪家外歸て清祓し靈
 前。り。饌。物。を。奠。了。左。此。詞。致。告。る

諡。號。御。靈。乃。御。前。余。白。佐。汝。命。波。百。年。能
ミタマノミマヘニマヲサクミマシモトハモ、トセノ
 齡。表。重。氏。世。乃。長。人。登。名。余。負。坐。年。事。乎
ヨハヒヲカサネテヨノナガヒトトナニオヒマサムコトヲコ

曾^ソ朝^ア夕^マ 余^ニ 乞^コ 祈^ヒ 奉^マ 加^リ 之^カ 忽^タ 余^ニ 現^ウ 世^ツ 乎^シ 離^サ 氏^リ
 天^ア 翔^ガ 里^ケ 罷^リ 利^マ 坐^カ 留^リ 故^ル 余^ニ 家^ニ 人^ト 等^ト 波^ハ 律^リ 徊^リ 日^ニ
 夜^ヒ 不^シ 知^ラ 思^ニ 悲^シ 美^シ 哭^キ 呻^キ 吟^キ 給^フ 布^フ 物^ノ 良^カ 之^カ 加^カ 須^ス
 賀^ガ 余^ニ 今^ケ 日^フ 葬^ハ 禮^フ 治^フ 米^メ 竟^フ 奴^ヌ 是^コ 以^モ 氏^テ 家^ニ 内^ニ 余^ニ
 座^マ 奉^マ 里^リ 齋^イ 奉^ハ 流^ル 御^ミ 靈^ヲ 乎^ヲ 慰^メ 米^メ 奉^マ 良^ク 久^ト 爲^シ 氏^テ
 奉^タ 出^マ 須^ス 物^ノ 波^ハ 忌^イ 清^サ 留^メ 御^ミ 酒^キ 御^ミ 飯^ケ 乎^ヲ 平^ヒ 加^カ 乃^ノ
 平^タ 加^カ 盛^モ 備^ソ 閉^ヘ 大^オ 海^ホ 原^ワ 余^ニ 住^ス 物^ノ 登^ト 齋^ハ 廣^ハ 物^ノ 齋^ハ

狹^セ 物^マ 野^ノ 山^{ヤマ} 余^ニ 生^オ 留^ル 物^ノ 登^ト 甘^ア 菜^マ 辛^ナ 菜^{カラ} 乎^ヲ 始^ハ 米^シ
 種^ク 々^サ 物^ド 乎^ノ 宇^ウ 豆^ヅ 高^タ 久^カ 百^モ 取^ト 乃^ノ 机^ツ 代^ク 余^ニ 置^オ 足^キ
 波^ハ 奥^オ 山^ク 乃^{ヤマ} 神^サ 我^カ 技^ガ 余^ニ 時^ト 花^キ 表^ノ 取^リ 添^ソ 氏^テ 奉^マ 留^ル
 之^サ 乎^ヲ 御^ミ 心^{ココ} 母^モ 穩^オ 余^ニ 聞^キ 食^シ 氏^テ 此^コ 家^ノ 波^ハ 諸^モ 乃^ノ 災^ワ
 害^ハ 無^ク 久^ク 幾^イ 万^ヨ 世^ヨ 毛^モ 變^カ 事^ハ 無^ク 久^ク 移^ウ 布^ツ 事^コ 無^ク 久^ク
 子^ウ 孫^ミ 乃^ノ 繼^ツ 々^ギ 春^ハ 秋^ル 能^ノ 祭^マ 乎^ヲ 飲^ム 留^ル 事^コ 無^ク 久^ク 落^オ
 流^ル 事^コ 無^ク 久^ク 令^ツ 仕^カ 奉^ヘ 給^マ 登^ヘ 白^マ 須^ス 事^コ 能^ノ 由^ヨ 甘^ウ

余ニキコシメセトマラズ
聞食登白須

○七日以後期日靈祭を祓を修し
饌物我奠可左此詞字告るべし

謚號御靈余職苗名告白久佐汝不意之間

現世乎離氏可蕕氣伎與余遮面之與親

族等者晝者終日夜者終夜思比歎加戀

悃氏毘雨降風吹每余悲慕比左右能袖

濡々留物良加須々呂余日數來經往氏今

波ハステ余ニ
己余ニ
幾日或は周年以下こまふ準ふ

登トイフヒ
云日里余叙奈故現心搔曇氏殆絶入倍奴

久ハアレドオホロカニウチスギナムハイトモナメクカシコキワザ
有有礼凡余加打過波奈年甚母無禮恐伎事

余ニレバタチアザリマツリツカヘマツラムトシテオヒレゲレル
有有禮立阿射里祭祀仕奉之年登氏生茂留

物トサカキハニトキノハナヲモトリソヘテフタトコロニサシタテ
物傘神葉余時花毛取漆氏二所余挿立

取トリヲセムルモノト登御酒御饌海川乃魚甘菜辛
食留物登御酒御饌海川乃魚甘菜辛

菜ナラハヒメクサノモノヲオキタラハシテソナヘマツリ
乎始米種々能物表置足氏之備奉里

齋奉留狀表。甘良聞食。登世白須。汝某。靈
 魂。現世。生出來。都時。天祖神。乃賜。閉
 之。任。本。都。御。靈。乃。甚。母。奇。久。甚。母。妙。流。奈。里
 依。幽。冥。歸。里。坐。波。天。祖。神。乃。大。御
 惠。以。氏。次。々。余。御。靈。等。能。階。級。母。上。祈。給
 比。進。米。給。比。年。奈。其。分。々。余。就。互。幽。事。掌。分
 祈。給。比。諸。乃。御。靈。等。相。宇。豆。那。比。先。祖。等

能。靈。登。諸。共。余。相。樂。久。之。座。坐。年。任。余。現。世
 在。留。家。人。等。乎。彌。遠。余。彌。廣。余。惠。美。給。比
 幸。閉。給。氏。比。門。荒。美。頃。久。事。無。久。親。名。不
 絶。家。名。不。穢。時。々。乃。祭。絶。事。無。久。懈。事。無
 久。令。仕。奉。給。登。白。須。事。能。由。乎。聞。食。登。白
 須。

○四十九日。祭。其。時。左。其。詞。字。告。の
 靈。床。お。合。祭。仍。其。時。左。其。詞。字。告。の

某^ノ家^ノ能^ト遠^{ホツ}祖^{オヤ}代^ヨ々^ヨ乃^ノ祖^{オヤ}等^{タチ}乃^ノ御^ミ前^{マヘ}余^ニ職^ニ
 苗^ツ名^シ敬^ミ氏^テ白^マ久^サ佐^ク諡^シ號^ス能^ス過^ス去^リ坐^リ之^シ與^リ早^ク久^クモ
 ヨソカマリコ、ヌカトイフヒニヅナリヌルカレミタマシロヲコノタマ
 四十九日登云日叙成流故靈主表此靈
 床^ト余^ニ齋^イ奉^{ハヒ}留^ル依^ヨ氏^テ奠^{タテ}留^ル御^ミ食^{ケツ}物^{モノ}乎^ヲ平^{タヒ}余^ニ加^カ安^{ヤス}
 加^カ余^ニ聞^キ食^シ氏^テ御^ミ祖^{オヤ}神^{ガミ}等^{タチ}諸^{モロ}共^ニ余^ニ相^ア宇^ヒ豆^ヅ奈^ナ
 余^ニ聞^キ食^シ氏^テ御^ミ祖^{オヤ}神^{ガミ}等^{タチ}諸^{モロ}共^ニ余^ニ相^ア宇^ヒ豆^ヅ奈^ナ
 坐^マ世^セ登^ト白^マ須^ス須^ス

某^ノ乃^ノ家^ノ乃^ノ先^ト祖^{ホツ}靈^{オヤ}代^ミ々^ヨ祖^ヨ神^{オヤ}親^{タチ}族^ノ靈^ミ余^ニ始^{ハシ}
 奉^{マツ}氏^テ此^コ靈^ノ床^{タマ}余^ニ齋^イ奉^{ハヒ}留^ル靈^ミ等^{タチ}乃^ノ御^ミ前^{マヘ}余^ニ職^ニ
 苗^ツ名^シ恐^シ美^{カシ}恐^シ毛^モ白^マ久^サ佐^ク先^ト祖^{ホツ}等^{オヤ}能^ス事^{コト}始^{ハシ}給^{タマ}之^シ
 次^ツ乃^ノ隨^マ余^ニ中^ナ今^イ余^ニ至^イ麻^マ傳^デ祖^{オヤ}名^ノ不^ズ絶^ズ天^{アメ}地^{ツチ}
 乃^ノ長^ク久^ク遠^ト久^ク頃^カ事^{タム}無^ク久^ク動^ウ事^{ゴク}無^ク自^ワ治^{タラ}
 比^ヒ久^ク流^ル事^{コト}能^ス高^タ久^ク尊^{タフト}伎^キ恩^ミ頼^{タマ}乎^ヲ重^イ美^{カシ}尊^{タフト}美^{カシ}
 ○春秋の靈祭をまが被茂修し饌
 物を奠る左に詞を白くせし
 乃先祖靈代々祖神親族靈余始
 此靈床余齋奉留靈等乃御前余職
 美恐毛白久佐先祖等能事始給之
 乃隨余中今余至麻傳祖名不絶天地
 乃長久遠久頃事無久動事無久自治
 比久流事能高久尊伎恩頼乎重美尊美

忝美御惠能千々乃一母報奉久良万(春秋)
 能祭仕奉登之今日乎吉日乃吉時登擇
 定米親族諸寄集比八取能机置足之
 奉出須物者伊豆能甕和齋許母利氏
 釀之御酒登清酒醴酒登甕閉高知甕
 腹滿並安田平田作里和稻表御飯
 炊高杯乃彌高盛備閑山野生
 氏伎高杯乃彌高盛備閑山野生

留物者甘菜辛菜青海原住物者鱈廣
 伎魚鱈狹伎魚海底生留物者和布荒
 布表始米種々物時菓堅鹽御水至
 余漏事無久落事無久取揃閑奉留多米
 都物乎平久安久聞食某我祖々能讓
 給命乎負畏美家門荒穢須事無久
 彌高仕奉里彌繼將繼登思慎清

明心以氏彌務アカキコロモ 氏彌務テイヤツトメニ 務米ツトメ 彌結イヤシマリニ 結里都子シマリツツコ
 波ハ 乃心成オヤノ 伊子コ 波在ニハアル 倍志ベシト 心ココロニ 挂氏仕カケテツカヘ
 奉マツ 利日リヒ 每ゴトニ 願ネギマラ 須ス 事共コトドモ 表ヲ 免給ユルシタマ 比ヒ 授給サツケタマ
 比ヒ 福乎サキハヒヲ 令蒙給カンブラシメタマ 比ヒ 身波ミハ 健スコマカニ 命波イノチハ 幸サキ 久ク 令アラ
 在給シメタマヒテ 今母イマモ 往ユク 前サキ 毛モ 遠トホナガ 永ク 守惠マモリメクシ 給タマヘト 恐カシ
 古コ 自物進退ジモノシツマヒ 廻モト 里保ホリ 稱辭タヘゴト 竟奉マツ 登ラクト 白マラ 須ス
 古自物進退廻里稱辭竟奉登白須

○每朝神拜の後靈前毎朝神拜の後靈前 向む左向む左
 此詞を稱此詞を稱 拜み奉拜み奉 依法し依法し

姓名マラ 乃家能ノヤノ 先祖靈親族靈等トホツオヤノミタマウカラヤカラノミタマ 乃御前ノミマヘ
 白マラ 久サク 常母ツネモ 御靈等ミタマ 乎ヲ 爲夜備奉キヤビマツ 利日リヒ 每ゴトニ
 賜タマ 波流ハル 食物ヲシモノ 乎ヲ 始ハジ 米メ 萬物出來ヨロツノモノイデクル 余ニ 隨シタガヒテ 氏ヒ 初穗ハツホ
 乎ヲ 備奉ソナヘマツ 利年リトシ 長ナガ 久ク 日多ヒマネク 久ク 務結ツトメシマ 里リ 家名興イヘノナオコ
 佐サ 麻念マクオモ 布フ 眞心マゴコロ 余ニ 御靈等ミタマ 幸サキハ 閉ヘ 給タマヒ 比ヒ 相扶アヒタス
 久ク 相宇豆那アヒウヅナ 比ヒ 給タマヒテ 永世ナガキヨ 余ニ 氏門流離荒ウヂカドサスラヒアル
 相宇豆那比給永世余氏門流離荒

留^ル事^{コト}無^ク久^ク家人^{イヘビト}等^ヲ己^{オノ}我^ガ比^ヒ々^キ伎^ビ々^キ思^{オモヒ}違^{タガフ}布^フ
 事^{コト}無^ク久^ク諸^{モロク}同^{オヤジ}心^{ココロ}余^ニ相^{アヒ}伴^ト奈^ナ比^ヒ家^{イヘノ}業^{ナリ}乎^ヲ勤^{イソシ}美^ミ
 務^{ツト}米^メ彌^{イヤ}高^{タカ}余^ニ彌^{イヤ}永^{ナカ}余^ニ令^{ツカヘ}仕^{マツ}奉^{ラシ}給^{タマ}比^ヒ子^{ウミ}孫^ノ乃^ノ
 繼^{ツギ}々^ク令^{タチ}立^{サカ}榮^エ給^シ比^ヒ己^{オノ}我^ガ家^{イヘノ}能^{チカキ}近^{マモリ}護^ト登^{マモリ}護^{タマ}給^{タマ}
 比^ヒ幸^{サキ}閑^ハ給^{タマ}比^ヒ廣^{ヒロ}伎^キ厚^{アツ}伎^キ德^{ミダ}表^{ミヲ}令^カ蒙^ブ給^{ラシ}比^ヒ登^ヘ閉^ツ慎^シ
 美^ミ敬^{キョウ}比^ヒ拜^ヲ美^ミ奉^{マツ}良^{ラク}久^ク白^{マラ}須^ス
 美^ミ敬^{キョウ}比^ヒ拜^ヲ美^ミ奉^{マツ}登^ラ久^ク白^{マラ}須^ス

明治二十年五月三十一日出版版權願
 同年六月九日版權免許

定價四拾錢

東京府平民
 著述兼
 出版人
 權大教正神田息胤

新潟縣新潟區字大道
 下五百八拾三番乙地寄留

越後國長岡

賣捌所

松田周平

